年　　月　　日

龍谷大学理工学会長　殿

|  |  |
| --- | --- |
| （課程／学科／研究科・専攻名） | （学籍番号） |
| （代表者氏名） | 印 |
| （指導教員名） | 印 |

理工学会「学生会員の研究・開発活動に対する補助」申請書

このたび下記のとおり研究・開発活動を行いましたので補助いただきますようお願いいたします。

記

１. 活動内容

詳細に記入してください

|  |  |
| --- | --- |
| 学会等名称 |  |
| 開催日程 | 年　　　月　　　日　～　　　年　　　月　　　日 |
| 参加日程 | 年　　　月　　　日　～　　　年　　　月　　　日（　　　泊　　　日）やむをえず前泊・後泊が必要な場合、その日付と理由を記入すること（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 開催地□オンライン参加 | 会場名 |  |
| 住所 | 〒　　　　－　　　 |

※オンライン参加の場合は、□に✓を記入し、「会場名」や「住所」は省略可。

２. 研究活動参加者氏名（計　　　　名）（□別添あり）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 課程／学科／研究科・専攻名 | 学籍番号 | 氏　　名 | 課程／学科／研究科・専攻名 | 学籍番号 | 氏　　名 |
|  |  | 代表者 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

３. 経　　費（□別添あり）※別添がある場合でも、下記の表に必要事項を記入すること。

補助要項等を参照の上、記入すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 科　　　目 | 摘　　　要 | 実　費（円） |
| 交通費（高速道路代含む） | 経路については裏面に記入のこと |  |
| 保険料 |  |  |
| 運搬料 |  |  |
| 材料費 |  |  |
| 宿泊費 |  |  |
| 競技会・展示会提出書類郵送費 |  |  |
| ガソリン代 |  |  |
| パネル制作費 |  |  |
| 競技会・展示会参加費 |  |  |
| 合　　　　　　　　　　　　　計 |  |

※摘要は詳細にご記入ください。使途が明確でないものは補助の対象となりません。

以　上

交通費経路明細記入欄　※■欄は事務局記入欄につき空白のこと

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | 経　　　　　　路 |
|  | 出　発　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅　　大学・自宅（○印）目　的　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅新幹線利用の場合：利用区間（　　　　　　　駅～　　　　　　　駅）航空機利用の有無：□有　・　□無　航空機利用の場合は、領収書及び搭乗券の半券を添付すること |
| 支　給　額 |
|  | 通学定期の有無：□有（　　　　　　　～　　　　　　　）・　□無経路の中に通学定期を利用している区間が含まれる場合は、その区間を記入すること |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | 経　　　　　　路 |
|  | 出　発　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅　　大学・自宅（○印）目　的　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅新幹線利用の場合：利用区間（　　　　　　　駅～　　　　　　　駅）航空機利用の有無：□有　・　□無　航空機利用の場合は、領収書及び搭乗券の半券を添付すること |
| 支　給　額 |
|  | 通学定期の有無：□有（　　　　　　　～　　　　　　　）・　□無経路の中に通学定期を利用している区間が含まれる場合は、その区間を記入すること |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | 経　　　　　　路 |
|  | 出　発　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅　　大学・自宅（○印）目　的　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅新幹線利用の場合：利用区間（　　　　　　　駅～　　　　　　　駅）航空機利用の有無：□有　・　□無　航空機利用の場合は、領収書及び搭乗券の半券を添付すること |
| 支　給　額 |
|  | 通学定期の有無：□有（　　　　　　　～　　　　　　　）・　□無経路の中に通学定期を利用している区間が含まれる場合は、その区間を記入すること |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | 経　　　　　　路 |
|  | 出　発　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅　　大学・自宅（○印）目　的　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅新幹線利用の場合：利用区間（　　　　　　　駅～　　　　　　　駅）航空機利用の有無：□有　・　□無　航空機利用の場合は、領収書及び搭乗券の半券を添付すること |
| 支　給　額 |
|  | 通学定期の有無：□有（　　　　　　　～　　　　　　　）・　□無経路の中に通学定期を利用している区間が含まれる場合は、その区間を記入すること |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | 経　　　　　　路 |
|  | 出　発　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅　　大学・自宅（○印）目　的　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅新幹線利用の場合：利用区間（　　　　　　　駅～　　　　　　　駅）航空機利用の有無：□有　・　□無　航空機利用の場合は、領収書及び搭乗券の半券を添付すること |
| 支　給　額 |
|  | 通学定期の有無：□有（　　　　　　　～　　　　　　　）・　□無経路の中に通学定期を利用している区間が含まれる場合は、その区間を記入すること |

|  |  |
| --- | --- |
| 氏　　名 | 経　　　　　　路 |
|  | 出　発　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅　　大学・自宅（○印）目　的　地：【最寄駅名】　　　　　　　駅新幹線利用の場合：利用区間（　　　　　　　駅～　　　　　　　駅）航空機利用の有無：□有　・　□無　航空機利用の場合は、領収書及び搭乗券の半券を添付すること |
| 支　給　額 |
|  | 通学定期の有無：□有（　　　　　　　～　　　　　　　）・　□無経路の中に通学定期を利用している区間が含まれる場合は、その区間を記入すること |

 依頼日：　　　　年　　月　　日

龍谷大学理工学会長　殿

理工学会補助金の銀行振込について（依頼）

標記の件につきまして、下記口座への振込をよろしくお願い致します。

記

1. 振込依頼人

|  |  |
| --- | --- |
| フリガナ |  |
| 氏　　名 |  |
| 学籍番号 |  |
| 住　　所 | 〒 |
| 電話番号 |  |
| メールアドレス |  |

※卒業（修了）予定者で１月～３月申請の場合は、卒業（修了）後に連絡がとれる

メールアドレスを記入のこと。

２．振込口座（ゆうちょ銀行、信用金庫、農協　可）

　　＜「振込口座」は、申請者名義の口座に限ります。＞

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 銀行名 | 支店名 | 口座 | 口　座　番　号（右詰め記入） |
|  |  | １．普通２．当座 |  |  |  |  |  |  |  |
| 銀行コード | 支店番号 | 口　　座　　名　　義　　人 |
|  |  |  |  |  |  |  | フリガナ |  |
| 氏名 |  |

※既に大学に届けている銀行振込先がある場合は、その口座を記入して下さい。

※卒業（修了）予定者で１月～３月申請の場合は、卒業（修了）後に振り込むことが

できる口座を記入のこと。

以　上

添付書類　貼り付け用紙

【学生証表裏のコピー】

|  |
| --- |
| 表 |
| 裏 |

.

添付書類　貼り付け用紙

【振込先口座がわかる書類】

ご記入いただいた口座情報を証明するキャッシュカード又は通帳の写しを貼付してください。

㊟必ず金融機関名、支店名、口座種別、口座番号、振込口座名義人（ｶﾅ氏名）がわかる面の写しを貼付してください。

インターネットバンキング等で通帳不発行の場合は、金融機関名、支店名、口座種別、口座番号、振込口座名義人（ｶﾅ氏名）が表示された画面を印刷したものを貼付してください。

※近年、ご記入いただいた口座情報に誤りがあり、スムーズに振込できないケースが複数発生しております。口座情報を適切に確認するためにも、必ず振込先口座がわかる書類の貼付をお願いいたします。



理工学会発行『龍谷理工ジャーナル』「学生の研究活動報告」執筆様式

|  |  |
| --- | --- |
| タイトル | 「学生の研究活動報告」の執筆様式に関する研究 |
| 氏名 | 龍谷　ほげお |
| 氏名ローマ字表記 | Hogeo RYUKOKU（姓は大文字） |
| 学年・所属学科又は専攻名 | リストから選択 |
| 1. この様式を改変しないでください

　この文書は，「学生の研究活動報告」（以下「報告」と略記します）の執筆様式の使い方に関する注意点を述べたものです．　龍谷理工ジャーナルの冊子版の判型はB5で，「報告」は2ページと定められています．ウェブ掲載の「報告」も同様の形式です．この執筆様式は，このまま執筆すれば上記の形式に合致した原稿が作れるように，1行の文字数や段ごとの行数が設定されています．それらの具体的な数はページ下部に記載の通りです．「報告」の原稿作成の際は，この様式を改変せずそのまま使ってください．文字サイズ（10.5pt）や行間（1行）等の設定を変更して無理やり2ページにすることはやめてください．この様式を使って2ページに収まらなかった場合は，本文の分量を減らす，一部の図表の掲載をやめる，等の対応をとってください．また図表・写真を含め4段目（2ページ目の右段）の半分以上の分量を保持してください．読点「，」と句点「．」は全角を使用してください．2. 注意すべき点2.1 セクションタイトルについて　ウェブに掲載されている過去の「報告」を見ていただくとわかりますが，上記「2. 注意すべき点」や「2.1 セクションタイトルについて」のようなセクションタイトルは，出版時には上下を空けて記されます．執筆時も上記のように空行を入れておく方がよいでしょう．2.2 図表について　図や表についても，出版時には上下にスペースが入ります．以下の例に示すように，空行を入れておくのがよいでしょう．Macintosh HD:Users:takataka:Dropbox:RikouJ2017:whiteuni.jpg Macintosh HD:Users:takataka:Dropbox:RikouJ2017:blackuni.jpg図1 ほげほげ法の実験結果．左は実験前，右は実験後．図表については，明瞭な印刷ができるようなるべく高解像度としてください． 2.3 執筆要領も確認してね　この文書に記されているのは，ほぼこの執筆様式の使い方に関することのみです．原稿執筆にあたっては，「「学生の研究活動報告」執筆要領」もよく確認してください．2.4 ウェブで公開されます　提出された「報告」は，原則としてすべてウェブで公開されます．広く公開されるものであることに留意し，他者の著作物の一部を不当に利用するなど，著作権を侵害する行為を絶対にしないでください． |  |

23字×30行×２段組（図表・写真も字数に含む）

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |

23字×38行×２段組（図表・写真も字数に含む）

※様式を改変しないこと。